

令和2年度 武蔵野市立千川小学校 理解教育について

本校では、理解教育授業を通じて、「自他の違いを認め合い、支え合う児童」「自己理解、他者理解、障害理解を深め、共生社会の実現を目指す児童」の育成に努めています。

【第5学年の理解教育授業について】

(1) 授業の内容

テーマ：感じ方の違いを知ろう

ねらい：人それぞれ感じ方には違いがあることを知るとともに
その感じ方が人と異なってもよいと気付く。

(2) 授業を振り返って

児童の感想

- ・感じ方には違いがあるということを知れました。自分が思っていることと人が思っていることは違うので、これからは人に嫌な思いをさせないように気をつけたいです。
- ・人によって感じ方が違うことを知りました。何か味、音などの感じ方が人と違っても正解はないので、恥ずかしがらずに自分の意見をもってみたいのです。
- ・自分の感じ方の特徴をよく知ることができてよかったです。また、自分の感じ方を聞いてもらえて、それでいいんだと分かってすっきりしました。
- ・敏感に感じる人もいることを知り、その人を変だと思ったり、悪口を言ったりすることは絶対にしないようにしたいと改めて思いました。
- ・「みんな違って、みんないい！」



カウンセラーの伊藤先生に、人によって感じ方に違いがあることについて話をもらいました。



同じにおいをかいで、人によって好き嫌いが分かれることを実感しました。



今後、自分と感じ方が違う人に出会ったら、その違いを理解できるようにしたいと考えることができます